

平成30年度

阿賀野市市政モニター意見・提言報告書

平成31年2月

平成 30 年度阿賀野市市政モニターは、3 回にわたり会議を開催し、市政に対する意見・提言等を下記のとおり報告書としてまとめました。

市においては、まちづくりの目標である「元気で 明るく 活力のある 魅力的なまち」の実現に向け、より充実した施策を推進されるよう期待します。

安全・安心なくらしの実現に関するもの

- ◆トレーニングルームの利用拡大（利用時間の拡大や無料年齢の引き下げなど）
- ◆運動環境の整備（各地区に自然を感じながら運動できるスポットの指定など）
- ◆交通事故が多発する点滅式信号機設置交差点の信号機撤去の検討（信号機があることで、むしろ危ないと感じる）
- ◆交通量が多くスピードが出やすい国道等への立体横断歩道（トリックアートのように白線が浮き上がって見える）の採用の検討

子どもの育成支援の充実に関するもの

- ◆朝食抜きの子どもに対する指導・改善方法の検討
- ◆子どもの農業体験の実施（野菜等の成長過程を知ることにより、野菜を身近に感じ、偏食の抑制にもつながる）
- ◆小・中学生の職場体験を通じた地元産業・企業の魅力発信（若者が地元企業に魅力を感じにくい状況にある）

地域経済の活性化に関するもの

- ◆市内への若年層や中年層が集える場の誘致（ファミレス、イオンなど）
- ◆企業誘致の伸展
- ◆地元企業による市民の優先的な採用
- ◆魅力を感じる企業の育成（若者の流出に歯止めをかけるため）
- ◆高齢農業者と連携した子どもたちの農作業体験の実施（双方にとって様々な相乗効果が期待できる）

生活に密着した住環境整備の促進に関するもの

- ◆東部産業団地内の遊歩道や公園管理の徹底
- ◆消雪パイプ未整備路線への整備
- ◆交通弱者の増加に伴う市営バスの充実・利便性の強化（基幹ルート以外を小型車で行うドアツードア方式や、デマンド交通の成功事例、南相馬市の「おだかeーまちタクシー」方式の導入など）
- ◆市内と新津駅や豊栄駅を結ぶバスの新設
- ◆子どもたちに対する市営バス利用方法の周知の徹底（各学校を經由した種類・バス停の位置・時刻表などに関するチラシの配布など）
- ◆免許返納後の市営バス無料期間の延長

市民協働の推進に関するもの

- ◆自然の豊かさをPRした中学生などの体験入学の誘致（栗島浦村が実施している都会からの子どもの留学などを参考として）
- ◆ホームページの内容充実と迅速な更新
- ◆見やすく興味を持てる広報紙の作成（字数の削減や写真数の増加など）
- ◆インスタグラムやフェイスブックなどSNSを活用したPR（旅行の予約、飲食店の検索、調べ物など、情報を得る手段として、雑誌を購入するよりスマホやパソコンを活用している人が多いため）
- ◆素材などを工夫した目立つ観光看板の設置

信頼される行政経営に関するもの

- ◆市の中心拠点となる施設の配置（商業施設と公共施設を1か所に集約すれば、市民の利便性が高まる）
- ◆個人のプライバシーに配慮したアンケート後の聴取の実施（内容の趣旨に沿ったことだけを聴取するよう徹底を）

■会議開催経過

	開催年月日	主な内容
第1回	平成30年10月31日(水)	普段の生活の中で感じていること、地域や身の回りで起きている変化、疑問に思うことなどについて
第2回	平成30年11月29日(木)	地域公共交通について
第3回	平成30年12月20日(木)	情報収集のための手段について

■平成30年度阿賀野市市政モニター

氏名	地区
百都 順也	安田
佐藤 公明	安田
坂詰 榮子	安田
遠藤 沙弥	京ヶ瀬
佐藤 晴希	京ヶ瀬
杉山 啓子	京ヶ瀬
高澤 健一	水原
齋藤 和枝	水原
齋藤 ふみ子	水原
田村 千恵	笹神
榎本 英樹	笹神
本間 正樹	笹神